

平成 27 年 7 月 16 日

保護者のみなさま

県立小田原高等学校

校長 大嶽 真康

7 月 14 日の臨時休業について（お詫び）

盛夏の候、保護者のみなさまにはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、7 月 14 日（火）18 時頃、校内の水道から水が出ないことが確認されました。緊急対応としてさまざまな措置を検討しましたが、有効な手立てがなく、猛暑の続く中で水道の水が出ない状況は生徒の健康にとって危険であるとともに、トイレが使用できない状態では授業を継続することも困難であると判断いたしました。この結果、18 時 10 分をもって授業の終業を繰り上げ、生徒を下校させました。

翌日、専門業者に依頼して原因と対策を検討した結果、小田原市の水道本管からの給水及び校内の給水システムに課題があり、プールの給水やグラウンドの散水など一時的に大量の水を使用すると給水が間に合わないことが判明しました。

7 月 14 日の断水は、記録的な猛暑により校内の水を大量に使用したことが原因と思われます。

給水システムの改善は、多額の費用を要するため現状では困難ですが、校内の水の使用を調整するなどして、こうした事態の再発を防ぎます。

以上、ご報告するとともに、前期テスト前の大切な時期に、生徒・保護者のみなさまに多大なご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

問い合わせ先

定時制教頭

電 話

立花 ますみ

0465-23-1063